

# 市政を問う

## 一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月31日、9月1日、2日に行い、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



志民ネット 小栗佳仁

**市長マニフェストにある「くらしを支える強い経済」**

**問** 企業誘致はどのように進め、雇用目標3000人はどのように実現するのか伺います。

**答** 工業用地を確保し、企業誘致に向けた分譲開始時期を考慮し、産業立地セミナーなどに工業用地を出展することで多くの企業に関心を高めて頂くなか、会社訪問による情報提供も行いトップセールスも積極的に取り入れていきます。また、企業誘致により2030年までに3000人の雇用を確保していきます。

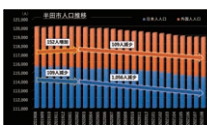
**問** 企業誘致はどのような業種を想定し、半田市の体制はどのようにして取組むのか伺います。

**答** 市内には自動車産業や航空宇宙産業など大企業が立地していますので、関連企業の誘致を考えていますが、企業情報を愛知県などから聞き取りするとともに、今後の産業構造や経済状況に注視しながら発展性がある業種を選定していきま

す。その体制は経済課が担い、市の関係各課と調整を図りながら取組んでいきます。

**問** 就職氷河期世代の非正規社員雇用など労働にまつわる社会問題の解決について伺います。

**答** 労働環境については、様々な問題を抱えている方がいるものと捉えていて、働きやすい環境を整えるように必要な支援を国や県へしっかりと要望してまいります。また、市独自の経済活性化策を議論する「産業振興会議」を立ち上げ、労働にまつわる様々な支援について、事業者の声を聞くなかで事業化について適切に判断してまいります。また、助成する場合の一定条件は、単に市から助成金を渡すということなく、事業者にも一定の負担や条件をつけるなど、市と事業者が連携して取組んでいくことを考えています。



維新・半田市民の会 加藤美幸

**未来を担う人づくり・環境の充実と平和事業見直しへ**

**問** 小中学校の体育館へ早急にエアコンを設置すべきではないですか。

**答** 子ども達の学校活動や災害時の避難所の役割をすることから空調機器の整備は必要と考えており、検討してまいります。

**問** 図書館など文化施設へ行くのに便利なく、金無料化すべきではないですか。

**答** 現在、地区路線Aの中学生料金は大人と同じ100円、小学生は半額ですが、地区路線Bと同様に小学生については、来年度から無料化する考えです。

**問** 中学生の英語力および学習意欲の向上のために、英検3級以上の受験料を助成すべきではないですか。

**答** 現在は考えていません。魅力ある授業づくりに努めます。



**問** 戦争を知らない世代が増える中、次世代に平和事業を引き継ぎ、平和な未来を担う人づくりに取組むべきと考えます。そのためには、半田市における戦争の歴史を伝え、資料など常時展示保存する場所が必要と考えます。半田赤レンガ建物の北壁に太平洋戦争時の機銃掃射の痕が生々しく残ることからも、建物内に戦争と平和を学び伝えるコーナーを設けるべきと考えますが見解を伺います。

**答** 公共施設内に新たな常設展示をする予定はありませんが、戦争を体験された方の講話を聞く小学校への出前講座を動画で保存し、ホームページに掲載することを市民団体と調整してまいります。昨年、「半田の戦争記録」を要約したダイジェスト版を発行し、小中学校にも活用されるようデータ版を配信しています。今後子ども達に戦争や平和について考えるきっかけとなる事業の実施を通し、平和な未来を担う人づくりに努めます。